2025年日本国際博覧会しが推進会議「万博しが」 第3回会議 会議要旨

- 日時:令和7年(2025年)3月26日(水) 16:00~17:00
- 場所:滋賀県危機管理センター1階大会議室
- 出席:名簿のとおり

○議事概要

1 開会

2 会長挨拶

会長(滋賀県知事)三日月 大造

3 講演(オンライン)

「いのちは合体・変形だ！」超時空シアターで伝えたいこと」と題し、大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー、アニメーション監督の河森正治氏から御講演。

4 情報提供

「大阪・関西万博の最新状況、滋賀県の取組について」
資料に基づき滋賀県総合企画部万博推進室から説明。

5 各団体の万博に向けた取組状況の共有、意見交換

参加者から万博に向けた取組について情報共有。

6 閉会挨拶

副会長(滋賀県教育長) 福永 忠克

(参加者からの主な発言(要旨))

- 子どもの参画に関し、子ども食堂をやっておられるボランティアの皆さんとも情報交換しており、子ども食堂を通じて、子どもたちの万博訪問ができないか検討している。取組について今後相談させていただきたい。
- 高等学校では、県立、私立合わせて24校、生徒数約12,000人が教育旅行で万博を訪問する予定であると聞いている。子ども招待事業に対し、多くの企業様からチケットの寄附をいただいたことに感謝申し上げます。寄附いただいたチケットに関し、これから半世紀を担っていく高校生への大きな期待が込められているということなどについて生徒たちに話をしている。物価高騰の影響もあり万博会場への交通費が高騰している。万博訪問の目的や意義を説明し、理解いただきながら進めていく必要があると考えており、引き続き万博の機運醸成に取り組んでいただき、社会全体で盛り上げていただきたい。

○会場へのアクセスを担う者として快適に会場にお越しいただくために、出来るだけ混雑を発生させないよう乗換駅の分散などについて案内していく。また、万博会場近辺で、大阪にお越しになったお客様に対し、滋賀県の魅力をPRするプラスワントリップの取組を実施する。地元の皆様と一緒に地域をPRしたい。また、「はなあかり」という観光列車に地域の特産品などを展示、PRできるスペースをもうける。詳細については今後発表予定。

○観光プロモーションに合わせて、万博と滋賀の魅力を同時発信する取組を実施しており、シガリズムの観光体験コンテンツを情報発信している。インバウンドについては、博覧会協会のオフィシャルサイトにシガリズム体験を申請しており現在9つが掲載されている。また、滋賀に1泊して万博に行かれるお客様向けの貸し切りバス旅行の造成に対し補助をしており、万博プラス滋賀での滞在という形で引き続き誘客に努めていきたい。

○海外からの来日客、ビジネス客に対し、ヘルスケア、食の展示会、商談会、企業とのネットワーキングやセミナーを東京、大阪を中心に開催予定。また、海外ビジネス関係の情報を集約した万博ポータルサイトを立ち上げた。滋賀では、県のプログラムであるTech Tour SHIGAへの協力や地元商工団体からセミナーの実施についてお声がけいただいております。

※滋賀県デイに出演の滋賀県長浜市のご当地ヒーローヒキヤマン、滋賀魅力体験ウィークに出展の滋賀県立陶芸の森、湖をデザインアッキーナ【びわ湖をまとう】から、万博に向けた取組や意気込みについてお話いただいた。